

平成26年度発明クラブがスタートしました

平成26年4月12日、新規グループ40名、継続グループ32名、計72名、多くの来賓の方々、保護者をお迎えし「こども未来館」で開講式がおこなわれました。

豊橋少年少女発明クラブ平成二十六年度
発明クラブだよ!

NO. 1

2014

5. 10

吉田運営副委員長



工業高校生が「風に飛ばされないお皿」を発明しグランプリをとりました。小さい時からいろいろな経験を積み重ねていくと、発想力・創造力が生まれます。

地宗運営委員長



考えて工夫することは楽しいことです。その中で人間として大事なことが育っていきます。

会長代理永田教育部長



日本の将来を担うみなさん、最後まで続けて一年後に成長した姿を見せてほしいです。



自分のアイディアで作りたものに積極的に取り組みます。いっしょに頑張りましょう。



開講式の後、早速3つのグループに分かれて活動を始めました。

新規グループ どうして動くのかな?

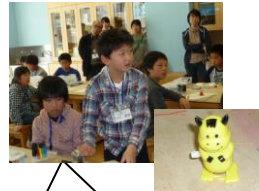
「おもちゃの分解と組み立て」



来賓の方々



ゼンマイの動力がどうして方向を変える動きになるの??
分解してみよう!



ゼンマイが回って、その力でカムを動かし、走ったり歩いたりする。身近なところに勉強になるものがある。



よく見かけるおもちゃだけど、どういう仕組みで動くのか知らなかった。ギア・カムとかいう新しい言葉もおぼえました。

ゼンマイのもどる力が回転力になり、「カム」で動きを変えて二足歩行で歩くことができます。

竹とんぼの羽根の付け方ABでどのように飛び方がちがうのか考えてみよう?

2年目グループ「Walking Tyrannosaurus」づくり

3年目グループ「手袋リモコン車」づくり



シャフトが動くと頭部が動いて重心移動で尾が動くんだと思う。



3年目になると制作キットもレベルが上がる。



スイッチを作るとき、小さな部品が多く難しかったけど、最後に前にちゃんと動いてうれしかった。改造したらおもしろそう。

モーターの向きやタイヤの付け方、ネジの位置が難しい。電池ボックスが下にあると電池が落ちてしまうので上にしよう。

